



## 使用する前に

この章では、システム要件および Prime Infrastructure および CMX ダッシュボードで Cisco Mobility Services Engine (MSE) を開始する方法を説明します。



(注) 設定についての情報については、『Cisco Prime Infrastructure Quick Start Guide』を参照してください。

## Prime Infrastructure へのモビリティ サービス エンジンの追加

[Mobility Service] ページの [Add Mobility Services Engine] ダイアログボックスを使用して MSE を追加できます。このダイアログボックスでは、ライセンス ファイルと追跡パラメータを追加し、マップを MSE に割り当てることができます。設定のために既存の MSE でウィザードを起動する場合、[Add MSE] オプションの代わりに [Edit MSE Details] として表示されます。



ヒント

Cisco Adaptive wIPS 機能の詳細については、Cisco.com にアクセスして、マルチメディア プレゼンテーションをご覧ください。



(注)

Prime Infrastructure リリース 1.4 は MSE 3355 を認識し、適切にサポートしています。

Mobility Services Engine を Prime Infrastructure に追加するには、Prime Infrastructure にログインし、次の手順を実行します。



(注)

[Services] > [Mobility Services Engine] ページは、リリース 7.3.101.0 の仮想ドメインでのみ使用可能

設定時にユーザ名とパスワードを指定しなかった場合は、デフォルトを使用します。

デフォルトのユーザ名とパスワードはどちらも *admin* です。

**ステップ 1** モビリティ サービス エンジンに対して ping を実行できることを確認します。

**ステップ 2** [Services] > [Mobility Services] を選択し、[Mobility Services] ページを表示します。

- ステップ 3** [Select a command] ドロップダウン リストから、[Add Mobility Services Engine] を選択し、[Go] をクリックします。
- ステップ 4** [Device Name] テキスト ボックスに、モビリティ サービス エンジンの名前を入力します。
- ステップ 5** [IP Address] テキスト ボックスに、モビリティ サービス エンジンの IP アドレスを入力します。
- ステップ 6** (任意) [Contact Name] テキスト ボックスに、モビリティ サービス エンジン管理者の名前を入力します。
- ステップ 7** [User Name] および [Password] テキスト ボックスに、モビリティ サービス エンジンのユーザ名とパスワードを入力します。これは、設定時に作成された Prime Infrastructure 通信ユーザ名とパスワードです。



**(注)** 自動インストール スクリプトの実行中にユーザ名とパスワードを変更した場合は、変更後の値をここに入力してください。デフォルト パスワードを変更しなかった場合は、自動インストール スクリプトを再実行してユーザ名とパスワードを変更することを推奨します。

- ステップ 8** [HTTP] チェックボックスをオンにして、モビリティ サービス エンジンとサードパーティ アプリケーションの間の通信を許可します。デフォルトでは、Prime Infrastructure は MSE との通信に HTTPS を使用します。
- ステップ 9** MSE からすべてのサービス割り当てを永久に削除するには、[Delete synchronized service assignments] チェックボックスをオンにします。このオプションは、ネットワーク設計、有線スイッチ、コントローラ、およびイベント定義に適用されます。既存のロケーション履歴データは維持されますが、今後ロケーション計算を実行するときには手動サービス割り当てを使用する必要があります。
- ステップ 10** [Next] をクリックします。Prime Infrastructure により、選択されている要素と MSE が自動的に同期されます。
- ステップ 11** 同期完了後、[MSE License Summary] ページが表示されます。[MSE License Summary] ページから、ライセンスのインストール、ライセンスの追加、ライセンスの削除、アクティベーション ライセンスのインストール、サービス ライセンスのインストールを実行します。[Select Mobility Service] ページが表示されます。
- ステップ 12** MSE 上のサービスを有効にするには、サービスの横にあるチェックボックスをオンにします。サービスには Context-Aware Service および wIPS が含まれます。  
[CMX Dashboard Service] および [HTTP Proxy Service] を選択してサービスを有効にします。  
CAS を選択すると、クライアント、不正アクセス ポイント、干渉、有線クライアント、およびタグを追跡できます。  
タグを追跡するために、[Partner Tag Engine] を選択します。

- ステップ 13** [Save] をクリックします。

新しいモビリティ サービス エンジンを追加すると、Prime Infrastructure を使用して、ネットワーク設計 (キャンパス、ビルディング、および屋外マップ)、コントローラ、スイッチ (Catalyst シリーズ 3000 のみ)、およびローカル モビリティ サービス エンジンのイベント グループを同期できます。この同期は、新しいモビリティ サービス エンジンを追加した直後、または後で実行できます。ローカル データベースと Prime Infrastructure データベースを同期するには、「Synchronizing Mobility Services Engines」を参照してください。

# Mobility Services Engine での CMX ダッシュボード サービスの有効化

CMX Browser Engage とダッシュボードを有効にするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [Services] > [Mobility Services Engine] の順に選択します。[Mobility Services Engine] ページが表示されます。
- ステップ 2 [Mobility Services] ページで、[Device Name] をクリックしてプロパティを設定します。
- ステップ 3 [CMX Dashboard service] の横にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4 [Save] をクリックします。
- ステップ 5 [Done] をクリックして設定を保存します。

# Mobility Services Engine のプロキシ サーバの有効化

プロキシ サーバを有効にするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [Services] > [Mobility Services Engine] の順に選択します。[Mobility Services Engine] ページが表示されます。
- ステップ 2 [Mobility Services] ページで、[Device Name] をクリックしてプロパティを設定します。
- ステップ 3 [Proxy Service] の横にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4 [Save] をクリックします。
- ステップ 5 この設定を保存するには、[Done] をクリックします。

# CMX ダッシュボード ユーザ インターフェイスへのログイン

CMX ダッシュボードおよびプロキシ サービスを設定するには、Prime Infrastructure で次を実行します。

- ステップ 1 [Mobile Concierge Service] > [CMX Dashboard] を選択します。CMX ダッシュボード MSE がマップ およびロケーション データを取得するロケーション MSE を選択します。これは同じ MSE であることも異なる MSE であることもあります。
- ステップ 2 [Mobile Concierge Service] > [Proxy Configuration] を選択します。エンド デバイスにバナー情報を提供する CMX ダッシュボード MSE を選択します。CMX ダッシュボード MSE はこのプロキシ MSE から提供されます。

Web ブラウザを通じて CMX ダッシュボード ユーザ インターフェイスにログインするには、次の手順を実行してください。

- ステップ 1 Web ブラウザに <https://mseip/dashboard/> と入力します。

**ステップ 2** admin をデフォルトのユーザ名に入力します。

**ステップ 3** admin をデフォルトのパスワードに入力します。



---

**(注)** デフォルトのパスワードを変更するには、右上隅にある [My Account] をクリックします。新しいパスワードを入力および再入力し、[Submit] をクリックします。

---